



すくすくだより



2025年8月号



猛暑が続いていますね。子どもたちは、暑さの中でも夢中になって遊ぶので、水分補給には十分気を配り、熱中症に気をつけましょう。また、夏は花火やバーベキュー、プールや海水浴など楽しいこともいっぱい！そんな中、毎年水難事故の痛ましいニュースが流れるのもこの時期です。子どもたちの安全を十分確保し、楽しい夏を過ごせるようにしましょうね。



みんなで防ごう！子どもの事故！



子どもに起きやすい事故

年齢	1位	2位	3位
0歳	窒息	溺水	転落
1歳	溺水	誤えん	転落
2歳	誤えん	溺水	転落
3歳	誤えん	溺水	転落
4歳	転落	溺水	誤えん
5歳～	溺水	転落	誤えん

0歳の窒息はミルクの吐き戻しや、布団や抱っこひもによる窒息が多く、1，2歳の誤えんはたばこの吸い殻や、玩具が多くなっています。小さい頃の溺水は、お風呂場での事故が多く、ハイハイ、つかまり立ち、歩き始めと一人での移動範囲が増えてくることによる事故が目立ちます。転落はベッドやソファなど室内で起こることが多いようです。



3歳以上の溺水は圧倒的に川や海のレジャー時に多く、誤えんも食べ物で起きることが大半になってきます。また、行動範囲が増え、様々な知恵を働かせるようになることで、転落も建物からの転落が多くなってきます。

事故を防ぐポイント！



①窒息・誤えん

- ・子どもの手の届くところに物を置かない。
- ・食品は小さく切る。そしてよく噛むよう知らせる。
- ・寝かせる際は布団の固さに気をつけ、体が沈み過ぎないようにする。掛ける物は口元にこないよう気をつける。
- ・抱っこやおんぶ、寝かせる時の顔の向きにも十分気をつけ、様子が把握できるようにする。

②転落

- ・ベッドの柵は必ず上げる。
- ・ソファや椅子に座らせたまま、そばを離れない。
- ・出窓などに座れないよう、家具の配置に気を配る。
- ・ベランダにブランコのような足場になる物を置かない。
- ・窓やベランダの入り口が開かないよう、補助錠を取り付ける。
- ・ベビーカーのベルトをしっかり止め、そばを離れない。

③溺水

- ・入浴中の乳幼児を子どもだけにしない。
- ・入浴後、お風呂のお湯を抜く。浴室に入れないよう鍵をかける。
- ・水をためたバケツや洗面器を床に置いたままにしない。
- ・子どもだけで川や池に遊びに行かせない。
- ・水遊びをする時は、必ず大人が付き添う。

子どもは水深1cmでも溺れます！

子どもを守る方法！「かもしれない」

お子さんは日々目まぐるしく成長しています。昨日までできなかったことが、今日ではできるようになったり・・・こんなことできなかったのに！と驚くことも多々あるのではないのでしょうか。そんな子どもたちを事故から守るためには、〇〇するかもしれない、と様々な状況を想像することです。こんな高い所登るわけない、こんな所届くはずがないと思っていても、子どもたちは色々なことに興味を持ち、大人と同じことがしたくなって真似をします。万全には万全を期して、心配し過ぎかな？と思うほどに環境を整えてあげることが大切かと思います。



～こども保健課からお知らせ～

乳幼児健康診査の対象の方へは、健診日の1か月前頃に、日時を指定した健康診査票を送付します。詳しくは、豊橋市ホームページをご参照ください。

つぶやき・・・

私も実は子どもの「こんなことできなかったのに」を経験したことがあります。ハイハイしたての我が子が1階で昼寝をしていたので、今のうちに洗濯物を取り込もうと2階へ行き、山積みの洗濯カゴを持って階段へさしかかった時、満面の笑みを浮かべ、私を見つけ嬉しそうに手を広げた我が子が！ビックリしたのもつかの間、階段から落ちてしまいました。すぐに病院へ行き、検査をしてもらい、幸い無事でしたが、階段を登ってくるなんて想像もしていなかったため、階段へのガードもそのうち付けようくらいに思っていました。子どもの成長を本当に甘くみてはいけませんね。私の教訓になりました。